

# 2022 年度地球環境科学部学生研究プロジェクト

## 申請書記入例

### 1) 研究代表者

氏名 加藤 元 環境システム 学科 学籍番号 201H10000

メールアドレス 201h10000@rissho-univ.jp 電話番号 090-000-0000

### 2) プロジェクトメンバー

氏名 内海優奈 地理 学科 学籍番号 211H20000

氏名 茂木 健 地理 学科 学籍番号 221H20000

氏名 \_\_\_\_\_ 学科 学籍番号 \_\_\_\_\_

※研究代表者は除く。書ききれない場合は行を追加して列挙してください。

### 3) 研究協力者

氏名 \_\_\_\_\_ 専攻 学籍番号 \_\_\_\_\_

※研究協力者（大学院生）は定めなくても問題ありません。

### 4) 研究指導者

氏名 教員名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

### 5) 研究タイトル

環境調和型農法がサドガエルの生息に与える影響

## 6) 研究内容

(1) 背景、(2) 目的、(3) 調査方法、(4) 期待される成果を、この順番で記載してください。図や写真を使って分かりやすく説明してください。「調査方法」では、フィールドワークの場所と時期を具体的に記入してください。必ず本ページ内に収めてください。

### (1) 背景

サドガエルは佐渡(新潟県)のみに分布する貴重な種類である(図 1)。佐渡では、トキを野外で繁殖させる取り組みの一環として「環境調和型の農法」が推奨されており、サドガエルも里山の水田地帯を中心に生息している。しかし、慣行農法(図 2)に比べて「環境調和型の農法」がサドガエルをはじめとした里山の動植物の生存にプラスの効果を与えているのか分かっていない。



図 1. サドガエル。      図 2. コンクリート化された水田。

### (2) 目的

そこで本研究では、水田における農法の違いがサドガエルの生息に与える影響を調査する。

### (3) 調査方法

- ・ 9月に佐渡の水田地帯で調査を行なう。
- ・ 日中は目視により探索する。
- ・ 夜間は鳴き声により生息を確認する。
- ・ 発見した地点を Google Map に記録する。
- ・ 水田において圃場整備・水路のコンクリート化の有無などを調べる。
- ・ ArcGIS を用いて土地利用などの環境条件を抽出する。
- ・ 各環境条件とサドガエルの分布の関係について定量的に評価する。

### (4) 期待される成果

サドガエルが環境調和型農法の水田により多く生息していることが確認できれば、より有効な保全方法を検討することができる。

## 7) 支出計画

募集要項をよく読み、経費の支出計画を記載してください。収まらない場合は、行を追加して記載してください。

経費区分	項目	用途	金額（単位：千円）
物品費	捕獲用ネット	日中調査	9
	ヘッドライト	夜間調査	9
旅費	新幹線(熊谷-新潟)	佐渡調査(3名)	49
	フェリー(新潟-佐渡)		34
	宿泊(7泊)		99
			合計 200千円